

神奈川県議会議員 土井りゅうすけ (川崎市多摩区選出)

- ・神奈川県議会議員(5期)
- ・神奈川県監査委員
- ・総務政策受任委員会委員
- ・予算委員会委員
- ・観光審議会委員

http://www.kinet.or.jp/rdoi/
E-mail rdoi@kinet.or.jp

〒214-0014

川崎市多摩区登戸2663東洋ビル7F
TEL(044)911-5200・FAX(044)911-0330

【事務所】



かながわ自民党

県議会 NEWS



神奈川県議会

発行所

自由民主党神奈川県議会議員団
神奈川県横浜市中区日本大通 1
(神奈川県庁新庁舎内)

電話：045-210-7600

http://www.kanagawajimin.jp/



首相官邸で、菅官房長官と

新年のごあいさつ

神奈川県議会議員 土井りゅうすけ

新年おめでとうございます。

昨年は五月十七日に議長を退任し、五月十九日の県議会本会議において神奈川県監査委員に選任され、主に議会閉会中に県内各地をまわるなど、多忙な一年を過ごさせていただきました。

さて、神奈川県では、全国有数の速さで超高齢社会が進展し、今のままでは医療・介護をはじめ今の社会システムが早晚持ちこたえられなくなるのは明らかなです。

そこで、本県では「健康寿命日本一」を目指すことが重点施策に位置付けられました。

現在の本県の健康寿命は男性七十・九歳(全国十二位)・女性七十四・三歳(全国十三位)です。

健康寿命を伸ばし、高齢になっても誰もが健康に暮らし、長生きして誰もが幸せだったという社会を実現することを目指し、「未病を改善する」等、様々な取り組みを推進していきます。

また、ともに生きる社会を目指す取り組みや、商店街活性化、観光振興、議会改革などにも力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

どうか引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
皆様の健康・多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。

※「健康寿命」とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことで、平均寿命から日常生活に制限のある期間を除いたものです。

ともに生きる社会 かながわ憲章を 策定しました

平成二十八年七月二十六日(火)午前二時頃、指定管理施設である津久井やまゆり園において、同園の元職員が施設に侵入し、施設の利用者が刺され、男女十九人が死亡、二十七人が負傷(うち三名は職員)とする事件が発生しました。

神奈川県議会では、事件発生後、厚生常任委員会等を臨時開催し、現地調査を実施するなど審議を行いました。

ともに生きる社会かながわ憲章

ともに生きる

この悲しみを力に、
ともに生きる社会を実現します

- ― 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- ― 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- ― 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- ― 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

国際交流 台湾・新北市との 協定締結式

台湾・新北市より、侯 友誼(こうゆうぎ)副市長・黄 徳清(こうとくせい)消防局長 龔 雅芳(きようがぶん)教育局長が来県され、神奈川県庁で安全防災局長と「防災に関する相互応援協定」また、教育委員会と「高校生の相互交流推進に関する協定」を締結し、私も立ち会いました。

議長時代に台湾・新北市(旧：台北県)の副市長並びに議員団が来県した折、災害協定に関する話しがあり、神奈川県と新北市双方が事務レベルで話しを進め、八月に台湾視察に行った際、新北市役所で副市長・消防局長と会談し、協定の締結に至りました。



平成28年10月13日

次いで、第三回定例会初日の本会議で、冒頭「黙祷」を捧げると共に、「県立津久井やまゆり園で発生した事件の再発防止と共生社会の実現を目指す決議」を全会一致で可決しました。

その後、本会議の代表質問や予算委員会での知事答弁、さらには厚生常任委員会等での審議を経て、十月十二日には本会議を臨時開催し、知事から「ともに生きる社会かながわ憲章」が提案され、十月十四日の本会議に於いて全会一致で可決しました。

監査委員に就任

平成二十八年五月十七日に議長職を退任し、五月十九日の本会議に於いて監査委員に選任されました。

監査委員制度

監査委員は、知事等から独立した、執行機関です。

県の事務事業について、合規性はもとより、経済性、効率性、有効性の視点から監査を行っているほか、知事等からの事務監査請求や県民からの住民監査請求等があった場合にも監査を行います。

都道府県の監査委員の定数は、地方自治法第二九五条第二項で四人とされていますが、条例でその定数を増加することができます。

神奈川県では、地方自治法第二〇二条の規定に基づく「神奈川県監査委員に関する条例」により、議員のうちから選任される委員(議選委員)二人、識見を有する者のうちから選任される委員(識見委員)二人の計五人の監査委員が選任されています。



総務政策常任委員会の海外調査

平成二十八年八月二十二日～二十五日

総務政策常任委員会では、八月二十二日(月)から八月二十五日(木)にかけて、県行政の総合的企画に関する事項について、ヘルスケア・ニューフロンティアの総合的企画、調整及び推進に関する事項について及び統計及び情報化に関する事項についての委員会審査の参考とするため、台湾において以下の場所を訪問し、先進的特徴

常任委員会の県内・県外調査

総務政策常任委員会の県内調査

平成二十八年八月十二日

総務政策常任委員会では、八月十二日(金)に、ヘルスケア・ニューフロンティアの総合的企画、調整及び推進に関する事項について及び県有財産に関する事項について委員会審査の参考とするため、ライフイノベーションセンター及び茅ヶ崎ゴルフ場を訪問し、次のとおり調査を行いました。

- ①ライフイノベーションセンター〈再生・細胞医療産業創造拠点〉におけるヘルスケア・ニューフロンティアの推進について
- ②茅ヶ崎ゴルフ場の利活用について



総務政策常任委員会 自民党部会県内視察

平成二十八年十二月十四日

午前中、厚木基地で米軍と自衛隊の役割分担や災害時の活動、地域貢献活動等を調査。



的な取組について調査を行いました。

- ①台湾衛生福利部健康保険署におけるヘルスケア・CT事業の推進について
- ②台北医科大学における産学官連携の取組
- ③桃園航空城における空港を核とした経済活動の取組



資料2

提案された「未病いやしの里センター(仮称)」のイメージ

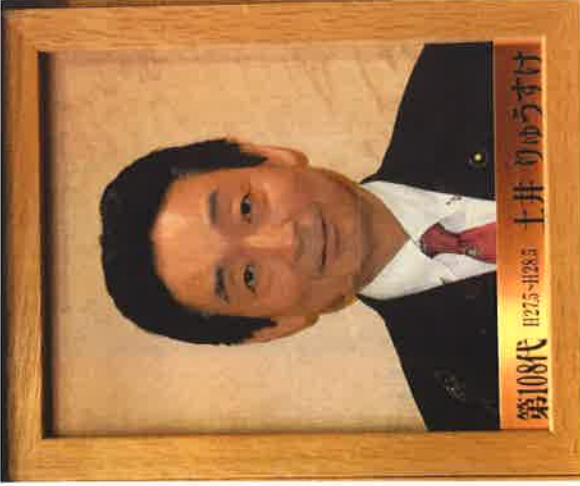
既存施設も活用しながら、広大な敷地を生かした施設設計を行います



午後から、「未病いやしの里センター(仮称)」設置場所を調査。

場所は、大井町にあるブルックス大井事業所です。

敷地面積約六十万平方メートル。「未病」についての情報発信や、地域活性化につながる「にぎわい」の創出に向けて、神奈川県とブルックスホールディングスがそれぞれの機能の実施主体を分担して、二〇二〇年迄の開設を目指して拠点作りを進めています。



第三回定例会から議場ロビーと、議長室に写真が飾られました。



※東名大井松田ICから見える高台に立つ大きなビル(旧:第一生命ビル)です。



議長退任後、全国都道府県議長会より感謝状を贈呈されました。



開かれた議会づくり

以前から取り組んできた議会改革の一環として、昨年十二月の第三回定例会(後期)から議場にスクリーンが設置され、質問の内容によって写真や資料を映し出すことにより、議員や傍聴者の方々に質問内容がわかりやすくなりました。

今後は知事答弁にも活用するなど、さらに改良が必要です。

また、現在の分割質問や将来の二問二答医方式採用等に備え、議員席最前列を一部撤去し、対面式演壇を設置すると共に、正面演壇の段差を無くし、バリアフリー仕様に改良しました。

本年三月にはIEに議会情報プラザ(体験コーナー・資料コーナー)が設置されます。